

## 副作用とその対処法について事前に情報提供した例

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は、副作用とその対処法について事前に情報提供することで、副作用を軽減することができたプレアボイドを紹介いたします。

### 患者背景

▶肺癌に対してレジメン変更目的にて入院された患者

【新規開始予定の化学療法】  
ゲムシタビン単独療法

E さん



ゲムシタビンの  
投与スケジュールや  
起こりやすい副作用、  
注意点等について説明



薬剤師



血管痛が出やすい薬なんやね。  
血管が細いから、血管痛が心配やね。



ゲムシタビン投与前に投与部位を温めておくことで、血管痛を軽減することができるので、投与前に温めてみましょうか。



そうしてもらおうかな。お願いします。

※参考：ゲムシタビン塩酸塩の経静脈投与による血管痛の危険因子の解析と NSAIDs・オピオイドによる予防効果の評価（医療薬学 38(3) 177-183 (2012)）

----- 担当看護師へ情報提供を行い、初回投与前に温罨法を依頼 -----



ゲムシタビン投与終了後

少し痛かったけど、これくらいなら大丈夫そう。  
温めてもらって良かった。

温罨法施行後にゲムシタビンを投与することで、血管痛を最小限に、化学療法を施行できた。

副作用とその対処法について事前に情報提供することで、安全な薬物療法に貢献できた。